



第1168号
2010年6月6日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 英 久子

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: comm.tko@nsk.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

◇6月の代禱・信施奉献先
▽沖縄週間(6・20〜26)▽東京教区神学生のため(聖霊降臨後第2主日6・6)▽沖縄教区のため▽野宿生活者の休息施設のため(きぼうのいえ)▽エリザベスサンダースホームのため

《奉献先から》

沖縄教区のため

今年も6月23日(沖縄慰霊の日)の週が「沖縄週間」。祈りとポスターは各教区・教会に届いていると思います。また、具体的に沖縄の宣教課題を共有する「沖縄の旅」(18日〜21日)に教区外から30数名(内、韓国聖公会から5名、米国聖公会から1名、他教派から2名)の参加。総勢60余名で沖縄本島北部に位置する米軍落下傘部隊降下訓練

誘致の伊江島のホテルに一泊。村議会で20年間も、唯一の野党議員として活躍されている方の話を聞く。翌日は戦跡巡り。教会分宿。主日礼拝と交流会。教区「慰霊の日」礼拝参加。全体の交流会と分かち合いで終了。感謝です。(司祭 高良孝太郎)

◇堅信受領

5月30日 聖マーガレット教会
▽石川俊次▽小貫美樹▽飯渕みな子▽小松崎瞳▽岩田健一▽岩

田貴子(聖マーガレット)▽保木美智子(立女聖マーガレット)
▽教会にJAZZが来た!
6月19日(土)18時、聖アンデレ教会聖堂。演奏||竹下ユキ&ピッグウイング・ジャズ・オーケストラ。入場料||前売2千円(当日2千2百円)。予約TEL03(3431)5038・担当者。

「春・夏のパザール」3

▽茨十字||13日(日) 11時〜14時。葛飾学園園庭。

今週・来週の予定

6月6日~19日

- 6(日) 聖霊降臨後第2主日
主日巡回
聖アンデレ教会実
- 7(月) フェスティバル
行委員会
- 8(火) 銀座朝拝会
- 9(水) 主日巡回
ナザレ修女会
エ教区協働委員会
- 10(木) 主日巡回
信仰と生活委員会
- 11(金) 広報委員会
外濠G牧師協議会
- 12(土) 主日巡回
滝乃川学園理由を
聴く会
- 13(日) 聖霊降臨後第3主日
主日巡回
聖バルナバ教会
- 14(月) 人権委員会
フェスタ(イベント)
- 15(火) 山手G牧師協議会
常置委員会
- 16(水) 教役者レクイエム
17(木) 城南G牧師協議会
フェスタ(礼拝)
- 18(金) 礼拝音楽委員会

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

昔から日本には八百万の神が住んでいると言われている。四季折々の自然の姿は美しく確かに手を合わせたくなる。大自然への感謝と畏敬の念、人々が手を合わせて祈っている姿は美しいと思う。

神様は恵みと共に試練もくださる。4年ほど前、家と少しばかりの財産と、夫は会社も失った。路頭に迷うことは無かったが心身ともにしんどい。願いが叶うなら八百万の神にでも鯛の頭にでも祈りたくなるほどだった。苦しいとき、喜びに踊るとき、悲しみに潰れそうなとき、岐路に立ったとき、人は何を祈るのだろうか。

《み手のなかで》

祈る

私は、十字架を背負い歩くイエスの姿を思い浮かべたのだろうか。この時「喜んで受

けられます」とは祈れなかった。何かに支えられて月日は過ぎて行つた。

昨年末教会の方がこの世の働きを終えて神様の元へ帰って行かれた。その方は「お祈りしています。大丈夫」と娘のことを気にかけていてくださり、娘は安らかに眠る姿に「今から頑張つて試験受けてきます」と伝え、京都で念願だった中学の教師になった。

導かれてここにいる、新たな場所へ導かれて行く。倒れず歩いていけるのは、誰かの励ましや笑顔に、「お祈りしますよ」の言葉に、見えない大きな手に支えられているのだということを忘れずにいたいと思う。

主に感謝。

(聖マルコ教会信徒)

主教になつてゆく人

主教 植田仁太郎

現に『主教』として使命を与えられている自分が、主教の資質や在り方を論じることが大変難しいことです。自分の想い描く主教像には到底達し得ない自分を良く承知しているからです。きつと、自分の足りないところ、欠けているところ、どうしてもできないこと…これらをひとつひとつ挙げてゆくと、そこにひとつの像が得られるのかも知れません。

主教の使命・任務は、祈禱書の主教按手の式文を良く読んでいただく、その誓約・試問・祈り―そのすべてに、良く説明されています。

ただし、ここに期待されている人格や資質や才能に、充分に恵まれていない人間を捜しても、まず居ないでしょう。それに近い人、さえ見つからないでしょう。

人は誰も、良い聖職になれるような資質を生まれつき与えられて生まれてくるわけではありません。主教に相応しい資質をもつて、あるいは、主教になるべく、そのような経験を積んで歩んできた―というような人も居りません。

執事・司祭に按手されて司祭に「なつてゆく」ように、誰でも「主教になつてゆく」のだと思います。私自身、そのように

「なつてきた」かどうか、大いに疑問ですが、主教を選ぶということは、ある人の強さや弱さ、才能や欠点を理解しつつ、主教に「なつてゆく人」を選ぶことだと思っています。良くご存知のように、色々な司祭が居られるように、色々な主教が居られます。それは、みんな「主教になつてゆく」途上だからだと思えます。

この点から敢えて申せば、主教に選ばれる人は、教区の聖職・信徒が、この人が主教になつてゆくのを助けたい、と思われの人を捜し選んでゆくのだと思います。

以上を申し上げた上で、つまり、祈禱書で期待されているような主教になつてゆくのを助け

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

たくなるような人を選ぶ、ということに努める他ないだろうと思います。最後にひとつ付け加えます。

これまた、自分がどのように「なつてきた」かどうか全然自信ありませんが、教会という小さな小さな集団の都合だけを考えて、主教になつてゆく人を選んで良いのか、と思う時があります。祈禱書という鏡に照らせば、その期待にかなり近い「主教になつてゆく」人が得られたとして、現代の世界と社会と歴史の中にある教会として、それでもう充分なのか、と思う時があります。

それは、「主教」が現代の世界・社会そして歴史の中で果たして欲しい使命、教会が(如何

に小さくとも)現代の世界・社会そして歴史の中で果たして欲しい使命と関係することです。「なつてゆく人」の中に、そのような使命も加えて欲しいと願っています。

(東京教区主教)

▽6月銀座朝拝会(毎月第2・4火曜) 8日・22日7時半、喫茶室ルノアール・ニュー銀座。照会☎042(796)1498・同会世話人。

▽6月西新の会(毎月第2・4火曜) 8日19時半Ⅱ聖餐式(卓志雄司祭) 22日10時半Ⅱ聖書の学び(加藤俊彦司祭) 会場Ⅱ井草地域区民センター。照会☎03(3951)5010・目白聖公会。

《今、この教会では…》

神愛教会

私どもの教会が2006年に伝道開始百周年を迎えた時、信徒全員で「神愛教会百年宣言」を決め毎年創立記念日7月7日に近い主日礼拝には全員で唱えています。地域に遣わされた教会であることを感謝し、小さくされた人たちのために生きていくことを宣言したものです。この5年間で洗礼、堅信を受けた方が増え、礼拝出席者も増加しています。が、「宣言」を生かすため、全員が何かの役につくこと、全員で宣教を話し合う時を持つことを始めました。先日の宣教を語る会では、浅草聖ヨハネ教会給食活動支援について具体的な話が出ています。(渡辺定夫)